

加工システム

2 単位 (選択)

Production and Manufacturing System

多田 吉宏・准教授 / 知的力学システム工学専攻 機械創造システム工学コース 生産システム講座

【授業目的】生産加工や組立ての高度化・高効率化について、既定時間標準法に基づいた作業測定の考え方と手法を習得する。

【授業概要】「もの作り」の効率化に有効な IE 手法について、basic-MOST を中心に作業測定および作業標準時間設定の基本的な考え方とその適用方法を講義する。

【授業形式】講義

【キーワード】インダストリアルエンジニアリング、作業測定、作業標準時間

【関連科目】『金属加工学』(0.5)

【履修要件】生産加工に関する基礎的な素養があること。

【履修上の注意】予習・復習が重要である。

【到達目標】作業測定や作業標準時間設定の基本的な考え方を理解し分析に適用できること

【授業計画】

1. 作業分析の基礎
2. 動作分析・時間分析
3. 各種のレイティング手法
4. 既定時間標準法
5. basic MOST の基礎
6. 普通移動シーケンス
7. 普通移動の分析と演習
8. 制限移動シーケンス
9. 制限移動の分析と演習
10. 連続動作の分析
11. 連続動作の分析と演習
12. 工具使用シーケンス
13. 工具使用の分析と演習
14. 手動クレーンシーケンス
15. 手動クレーンの分析と演習
16. 定期試験

【成績評価基準】レポート・演習 (50 点) と試験 (50 点) を総合して評価する。

【教科書】プリント資料で講義する。

【参考書】通産省産業構造審議会編「作業研究」, 日刊工業新聞社, ISBN4-526-00084-1.

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216592>

【連絡先】

⇒ 多田 (M319, 088-656-7381, tada@me.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習を行うことが、授業の理解と単位取得のために必要である